

新潟県聴覚障害者地震復興支援本部ニュース

NO. 9

平成17年4月1日発行

第5回

新潟県聴覚障害者地震復興支援対策本部会議の報告

平成17年2月19日（土）午後1時半より、全日本ろうあ連盟本部事務所長の大杉氏もわざわざ見えて、他関係者全部で20名集まり予定通りに行ないました。

まず、今までの経過報告から始まり、被災地の長岡、小千谷、十日町より現況報告を頂きました。震災発生から4ヶ月。落ち着いた模様ですが、特に十日町では大雪に気を遣い、屋根の雪下ろしは必ずやらないと不安な状態との事。山奥にいる先輩は2メートル以上も積もるので今まで8回も近所の協力を得て雪下ろしを行っている状態。大変なのは確かですが、ボランティアの必要はなく、何とか間に合っているので大丈夫との事。

小千谷ではやっと会社へ勤務復帰出来て良かったけど、以前に比べると給料が・・・。

長岡では今後の災害に構えてそれぞれの地域でブロックを作り、スムーズに連絡が取れるような緊急連絡体制を検討中ですとの事。

他に、罹災証明などの手続きで困った問題など伺ってみたら特になしとの事。各市町村からの見舞い金についても一部損壊など条件は同じでも地域によって見舞金が異なっている事が分かったけど、とにかく受け取ったと言う事について確認ができました。

全国および新潟県の義援金、見舞金が今のところ全部で6,656,206円（2月17日現在）集まりましたが、被災者に分けるにはまだ少ないので3月15日まで頑張って集めるよう、全国的に呼びかけ中との事でした。

そして今後の支援対策本部について、幹事会は今まで通り継続として、問題が起きた時など、必要に支援対策本部会議を招集する事にしました。支援対策本部は縮小しながらもしばらくは続けていきます。

それから、震災報告書については今後、編集委員会を立ち上げて作業を進めて行く事となった。4時過ぎに無事会議終了しました。

事務局からのお知らせ

- 中越地震聴覚障害者義援金の県内カンパ
3月20日現在 **1,027,370円**
皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

『ストレスケア体験会に参加して』



記：小千谷市聴覚障害者福祉協会会長 安達啓

去る3月27日に小千谷市社会福祉センターでストレスケア体験会を行い総勢約30名が参加しました。体験会は最初昨年11月に陶芸教室として開催する予定でしたが中越地震で中止。昨年からのボランティアとして横浜から度々来市し仮設住宅等でストレスケアを行なっている福田寿美先生と出会い、手話ができる事や地震や豪雪でストレスがたまっている聾者が多い事から今回の体験会開催の運びとなりました。福田先生は生活心理士1級を持つ認定ホメオストレッチトレーナーで、多くの聾者とのふれあいを大切にしている方です。当日は小千谷市の聾者だけでなく手話サークル、県聴障協女性部も参加され、福田先生の手話を兼ねた講演に魅了されました。講演後は参加者全員にストレッチ体験して頂き、気持ちよくなった、気持ちが楽になったと大好評。中には気持ち良すぎてよだれをたらした人もいたとか。被災された小千谷の聾者にとってこの体験会は一生涯忘れられない癒しの場となったと思います。



新潟県聴覚障害者復興支援対策本部

電話025-381-1956

FAX025-381-4699

E-mail niigata-roukyou@helen.ocn.ne.jp